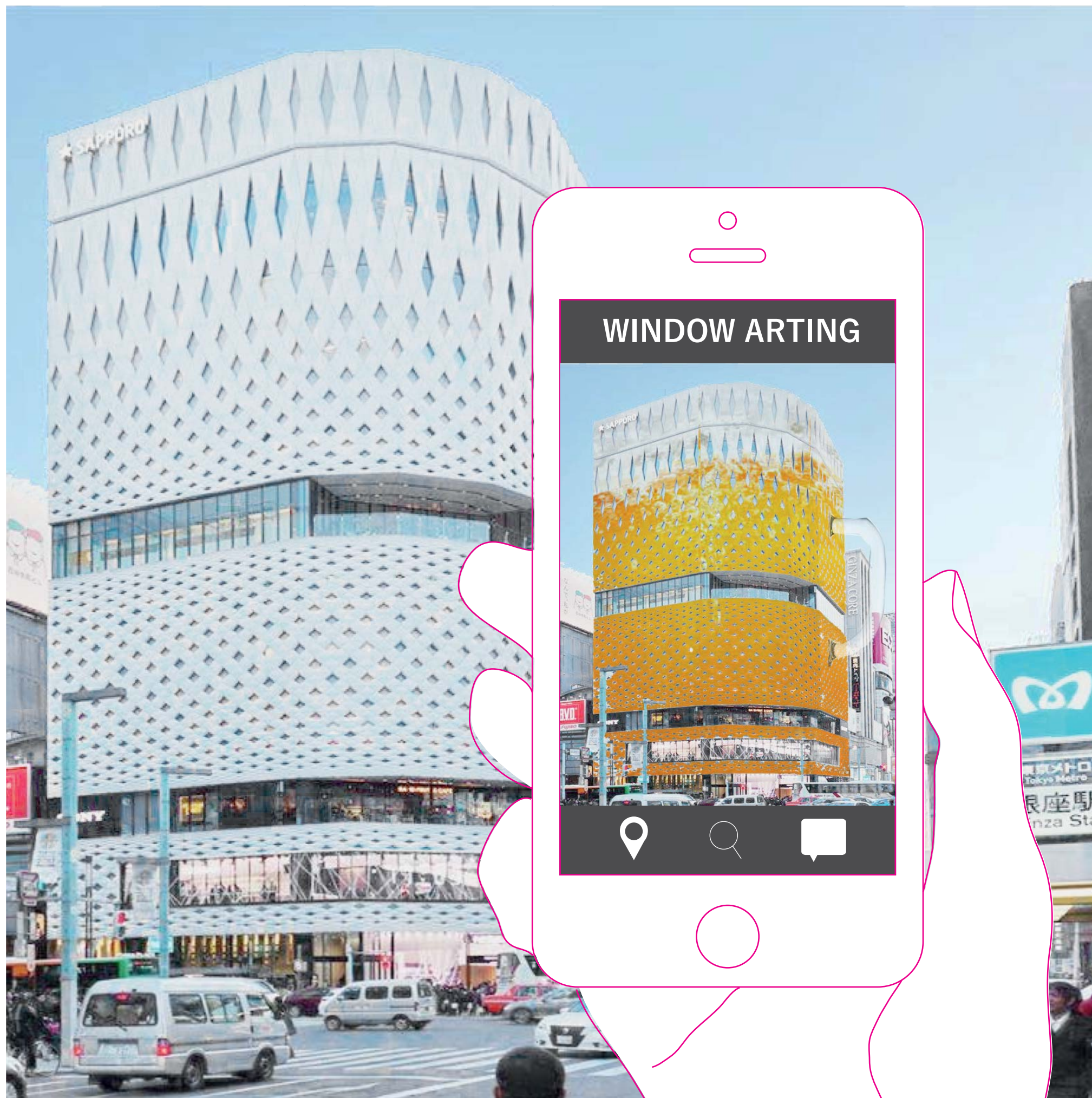


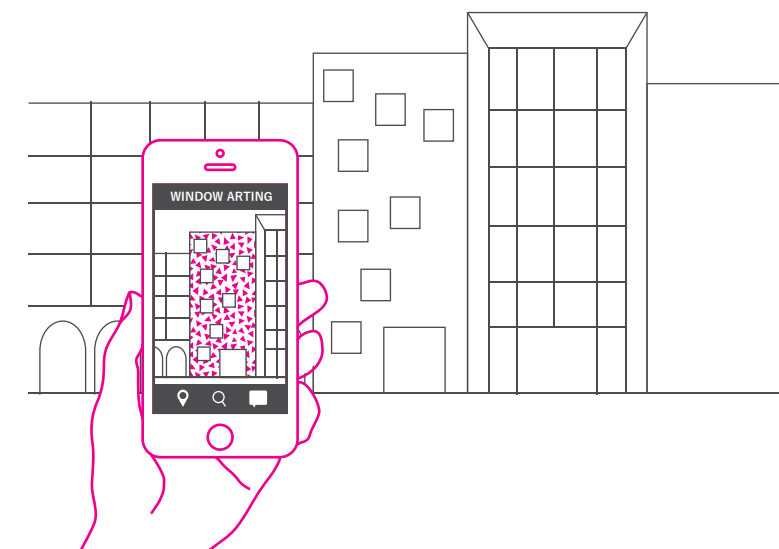
WINDOW ARTING



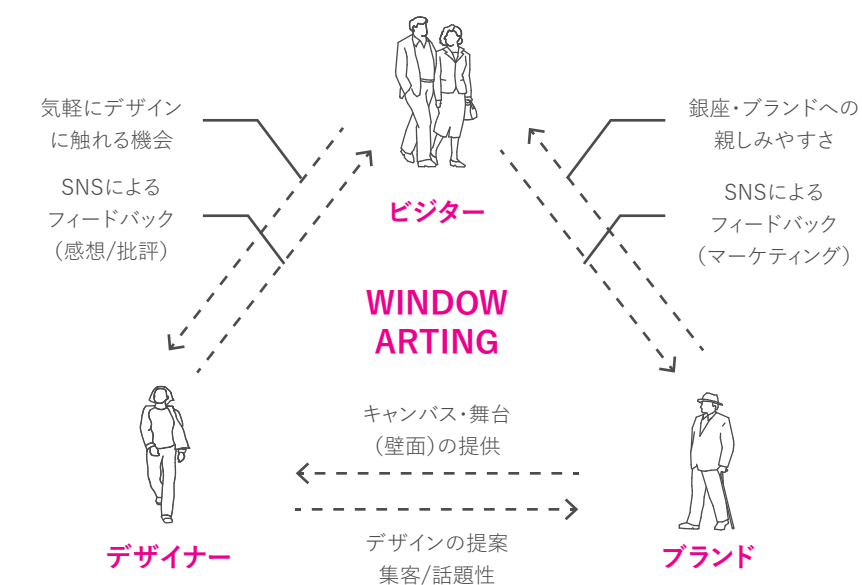
CONCEPT

- ARによる屋外アートの鑑賞・発信・試験プラットフォーム -

銀座は様々なハイブランドの旗竿店が建ち並び、ウィンドウショッピングを楽しめる魅力とスケール感を持ち合わせた街である。と同時にアート分野に関して、入りづらいギャラリーや画廊など敷居が高い。



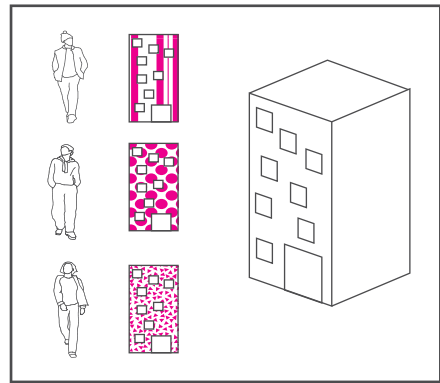
個性的な建築群を舞台としてAR技術を用い、スマートフォン(ウィンドウ)を通して人がアートを鑑賞・発信・試験できるプラットフォーム、ウィンドウアーティングを提案する。



訪れる人は銀ぶらしながらアートを楽しみSNSにその情報・感想を投稿でき、発信者は自分の提案を多くの人に見てもらえ、ブランドは試験的な広告・マーケティングが可能となる。それはみんなで銀座の新たな価値を高めていく循環を生み出す。

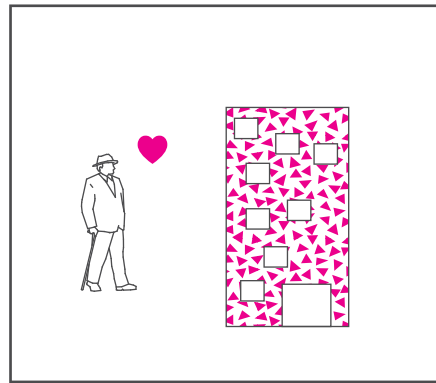
WINDOW ARTING

PROCESS



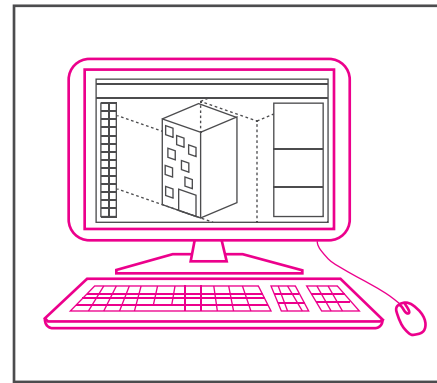
1. 提案 (デザイナー)

建物に対する創造性に満ちたデザイン(ファサード、ライティング、アート等)を提案する



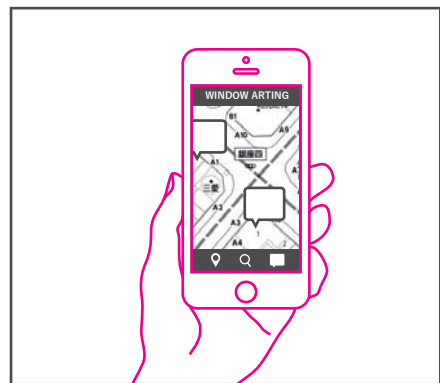
2. 選択 (ブランド/オーナー)

提案されたデザインに対して実践みたいものを選ぶ



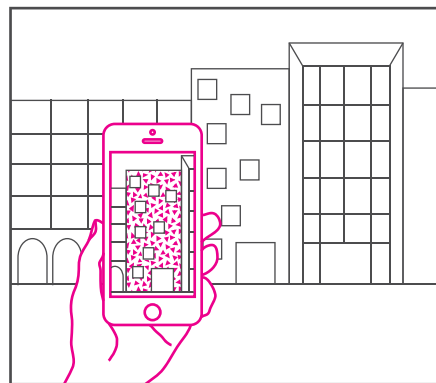
3. AR化 (WINDOW ARTING)

WINDOW ARTINGが選択されたデザインをAR化をしアプリ上にアップロードする



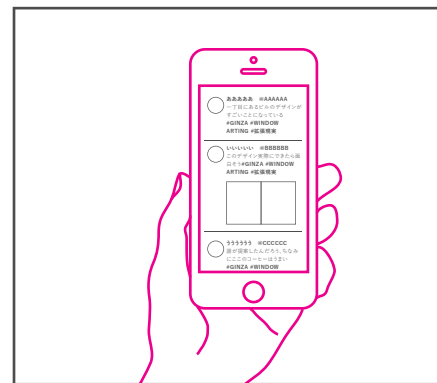
4. サーチ (ビジター)

マップに表示される情報・他者の投稿を元に実際に訪れたいデザインを検索する



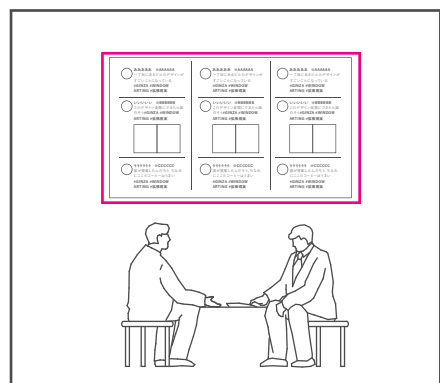
5. 鑑賞 (ビジター)

ARで表示されるアートをスマートフォン越しに楽しむ



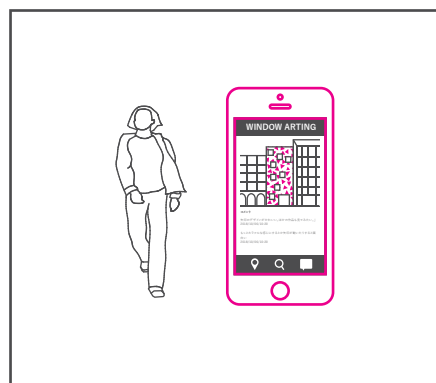
6. SNSへの投稿 (ビジター)

SNS上にデザインの感想・批評などを投稿する



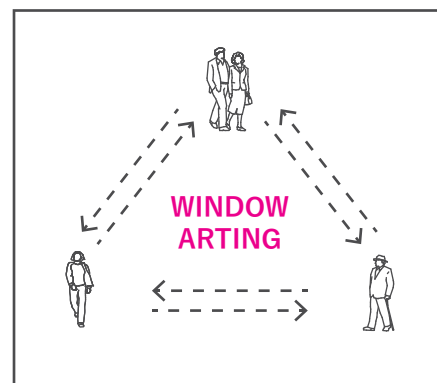
7. 市場調査(ブランド/オーナー)

SNSに投稿された感想を元に集客・話題性などを分析し、現実空間への適用等を検討する



7. フィードバック(デザイナー)

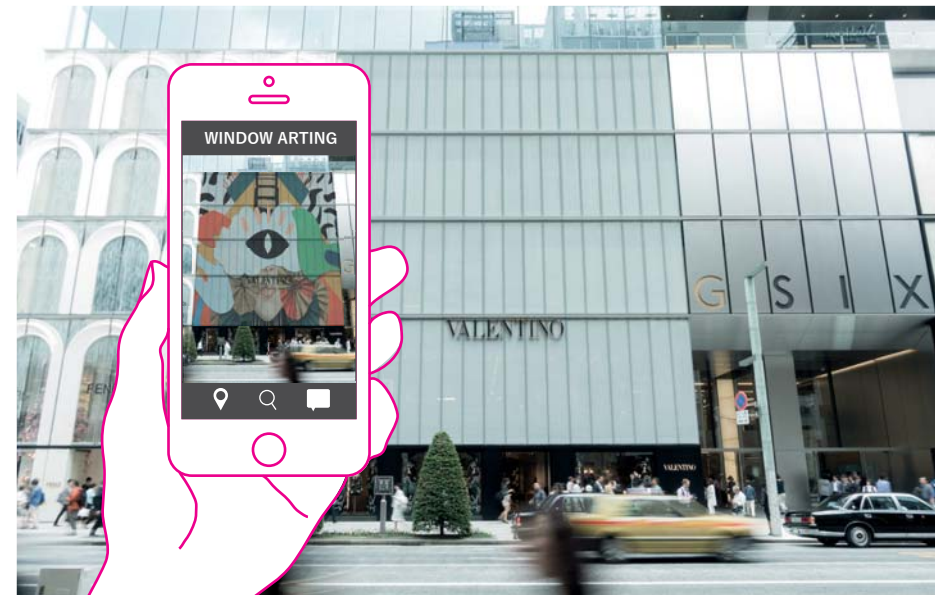
WINDOW ARTINGやSNSに投稿された感想を元に新たな作品、仕事に繋げる



8. 街の新たな姿の創造(みんな)

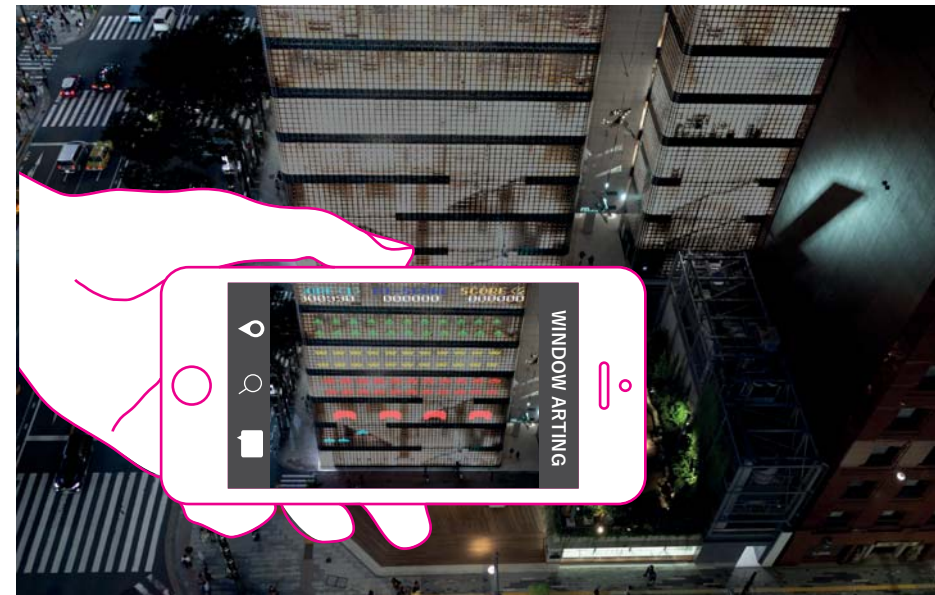
WINDOW ARTINGを通してアート、ARに対する敷居を下げ、街の新たな楽しみ方を創造していく

DESIGN PATTERN



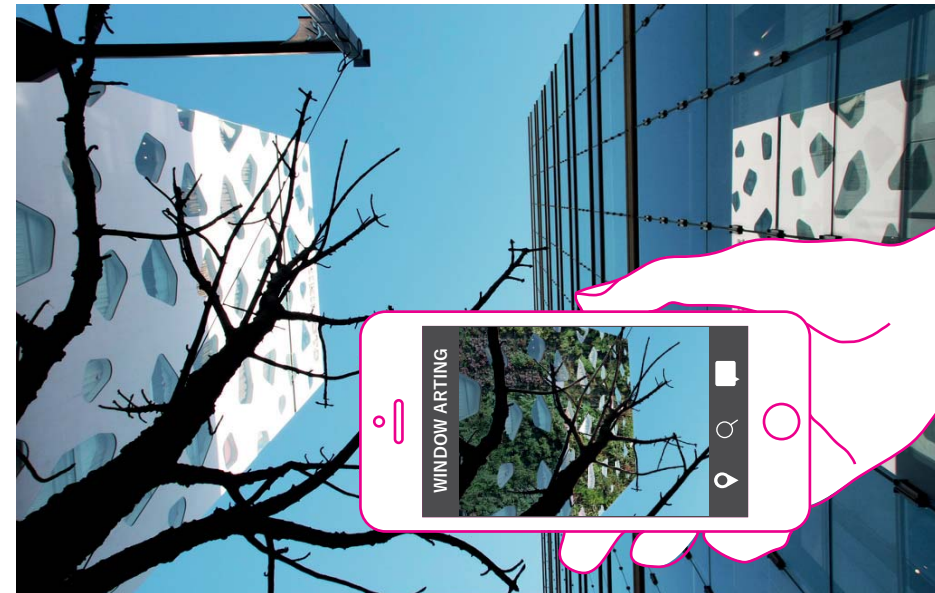
アート

グラフィティのような一般には敬遠される行為であったとしても、ARでなら有名ブランドとの異色コラボも可能となる



ライティング/ プロジェクションマッピング

夜の銀座を彩る光の演出を試験的にいろいろと試し、ビジターの反応を得たうえで実行に移すことができる



ファサードデザイン

ドットやストライプ、または壁面緑化など、建物の印象がまるでラッピングされるように簡単に早変わりする